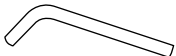
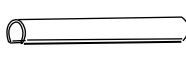
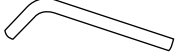
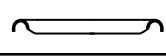
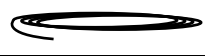
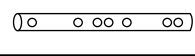
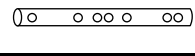
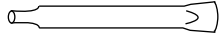
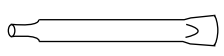
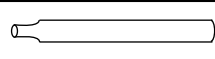
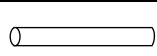
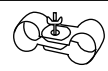
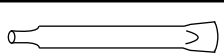
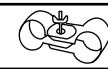
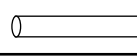
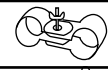
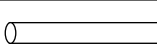
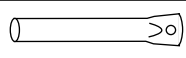
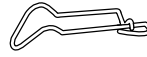
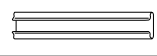
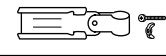
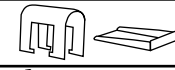
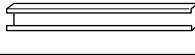
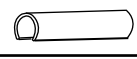
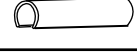
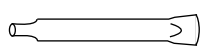
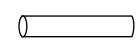
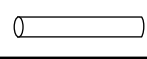
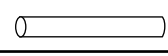
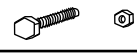
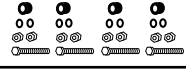
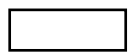


オリジナルハウス四季 OH - 5710 部材表

保存

【2004】

b. Ue

No.	品名	規格	数量	形 状	No.	品名	規格	数量	形 状
A-1/A-2梱包				A-1袋に11本、 A-2袋に11本入ってます	E ケースつづき				
①	アーチ用 パイプ	25×310A mm cm	11 11		③⑩	ビニバー	200 cm	6	
A-3/A-4梱包				A-3袋に10本+カラー番線1本 A-4袋に10本+カラー番線1本	③①	ロング パッカー	19×180 mm cm	9	
②	アーチ用 パイプ	25×310A mm cm	10 10		③②	扉用パイプ	19×100 mm cm	8	
③	カラー番線	#8×11m	2		③③	扉用パイプ	19×180 mm cm	2	
B-1ケース					③④	扉用パイプ	19×180 mm cm	2	
④	脚用パイプ	25×206SP mm cm	21		F ケース				
B-2梱ケース					③⑤	天ビニール	0.1×7.4×14.5 mm m m	1	
⑤	脚用パイプ	25×206SP mm cm	21		③⑥	側ビニール	0.1×1.85×33 mm m m	1	
C 梱ケース					③⑦	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 mm m m	2	
⑥	横通し用 パイプ	22×186S mm cm	25		G ケース				
⑦	横通し用 パイプ	22×100 mm cm	5		③⑧	外ジョイント	28×180	21	
D ケース					③⑨	Wユニバーサル ジョイント	28×22	2	 28×22刻印
⑧	前棲用パイプ	25×206SP mm cm	4		④⑩	Wユニバーサル ジョイント	28×25	1	 28×25刻印
⑨	前棲用パイプ	25×68 mm cm	2		④①	Wユニバーサル ジョイント	25×25	8	 25×25刻印
⑩	前棲用パイプ	25×116 mm cm	2		④②	ユニバーサル ジョイント	28	1	
⑪	ツカ用パイプ	25×123 mm cm	1		④③	Tバンド	25×22	8	
⑫	ビニバー	114 cm	1		④④	フック バンド	28×22 25×22 兼用	95	
⑬	ビニバー	140 cm	1		④⑤	妻金具	25mm用	26	
⑭	ビニバー	154 cm	2		④⑥	ビニバー 継手		12	
⑮	ビニバー	168.5 cm	2		④⑦	クランプ	25用	37	
⑯	ビニバー	176 cm	5		④⑧	レール 上金具		5	 ナット 14個
⑰	レール(上)	40×20×200 mm mm cm	2		④⑨	レール 下金具		4	 ナット 8個
⑱	レール(下)	40×20×120 mm mm cm	2		⑤⑩	レール 継手		2	
⑲	レール(下中)	40×20×179 mm mm cm	1		⑤①	戸当り板		1	
⑳	スプリング	200 cm	24		⑤②	パッカー	25mm用	8	
E ケース					⑤③	パッカー	22mm用	40	
㉑	後棲用パイプ	25×206SP mm cm	5		⑤④	Rバンド	150m	2	
㉒	後棲用パイプ	25×68 mm cm	2		⑤⑤	ターン バックル	3/8×20 cm	2	
㉓	後棲用パイプ	25×114 mm cm	2		⑤⑥	ラセン杭	小	20	
㉔	後棲用パイプ	25×143 mm cm	1		⑤⑦	ボルト ナット	M5×25	16	
㉕	ビニバー	114 cm	2		⑤⑧	戸車		4	
㉖	ビニバー	142 cm	1		⑤⑨	取手		2	
㉗	ビニバー	154 cm	3		⑥⑩	ペリカン	19用	4	
㉘	ビニバー	158 cm	1		⑥①	スパナ		1	
㉙	ビニバー	176 cm	1		⑥②	水糸	約 100m	1	
					⑥③	スポンジ テープ	4.5×10 cm cm	28	

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

⊗禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。

置いただけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まってる場合、アンカーを打つ場所に、先の下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

⊗禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

⊗禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

⊗禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

⊗禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

⊗禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

⊗禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

⊗禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

⊗禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

⊗禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

⊗禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

⊗禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

⊗禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

⊗禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

⊗禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

⊗禁止 換気にご注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

⊗注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

⊗注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

⊗注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

⊗注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降りし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降りしを行ってください。

⊗注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

⊗注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

⊗注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

⊗注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

⊗注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

オリジナル 四季 ハウス

OH-5710型

組立説明書

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
この商品の組み立て作業は、成人男性2人以上で行なってください。
組み立てる前に部材一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し（小さい部品の管理に注意
します）、『安全上の注意』を良くお読みになり、安全に作業してください。



（ケース名）（部品No）（寸法）（数量）

○各組み立て手順の項目ごとに **A梱包 ① 25×310cm 11本** の表示があります。

その項目で使用する部材ですので、先ず揃えてください。

○各項目ごとに組み立て手順／イラストを一回良くお読みになってから作業を進めてください。

1 必要工具を準備します。



メジャー
（寸法測定用）



ハンマー
（穴開け
つぶし）



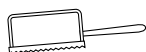
カッター
（バンドカット）



プライヤー
（部品取り付け）



スコップ
（整地）



金ノコ、又は、鋸
（部材カット）



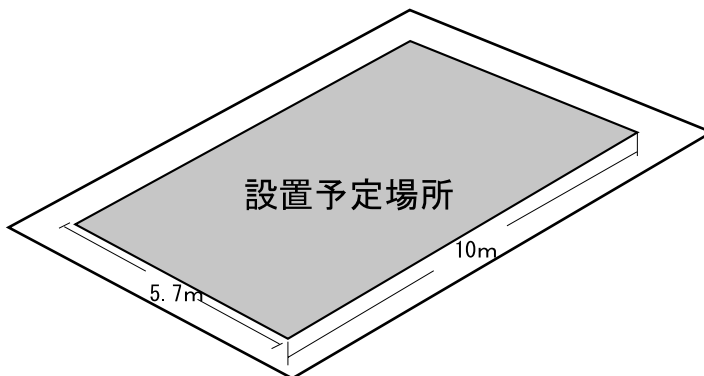
マジック
（パイプ印）

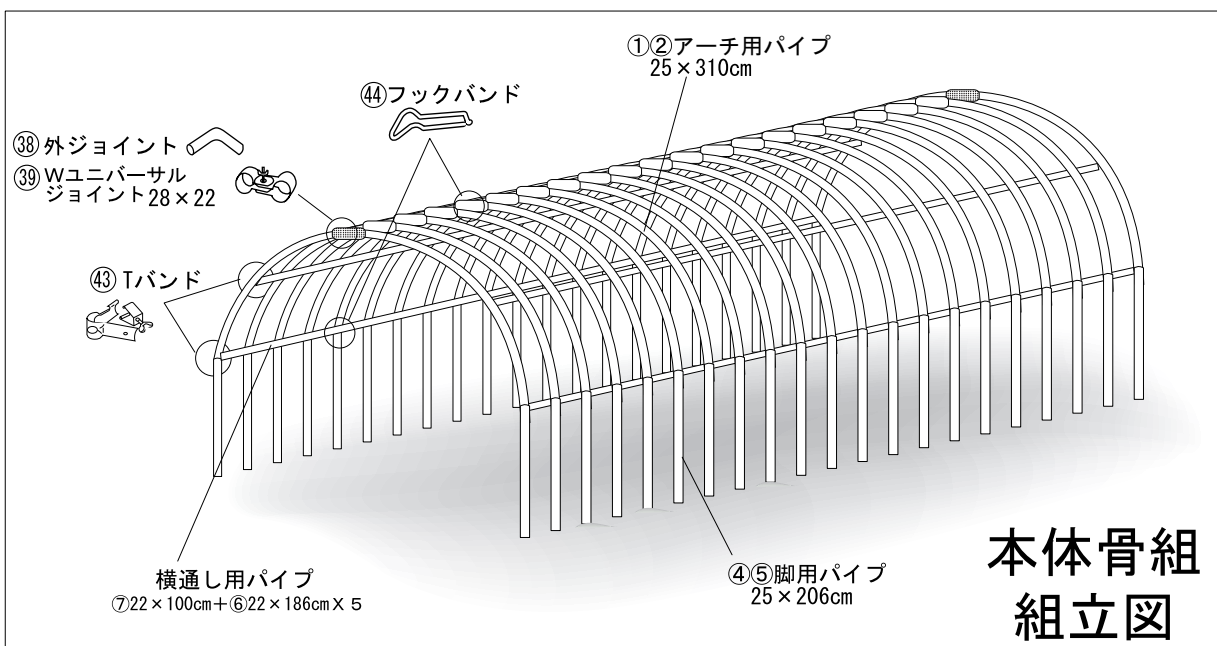


プラスドライバー
（部品取り付け）

2 整地をします。

作業性を考えて広めに整地してください。





まず、本体骨組みを組立てます。③～⑨までで上記骨組みが完成します。そのあと後部、前部を組立てます。

3 横通し用パイプに継ぎ印を付けます。

C ケース ⑥ 22×186cm 25本

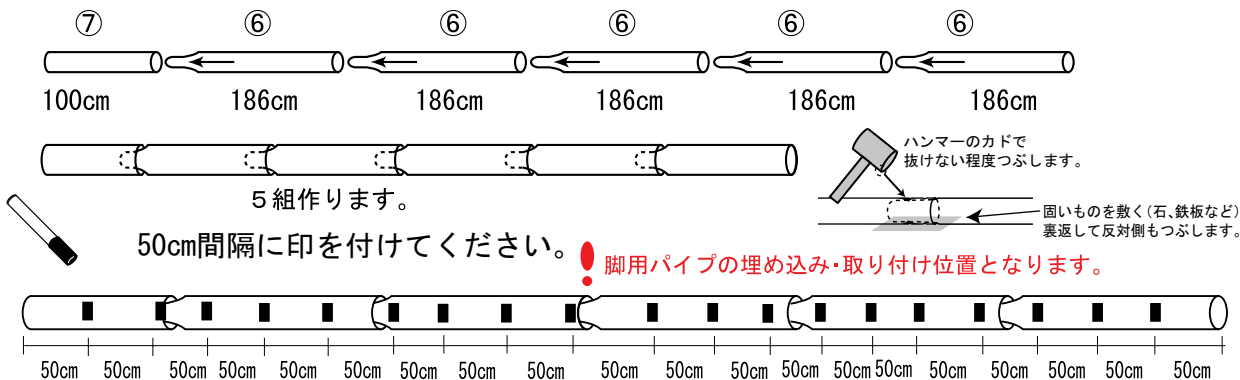
C ケース ⑦ 22×100cm 5本

(1) ⑥を5本継ぎ、⑦に差し込んでください。

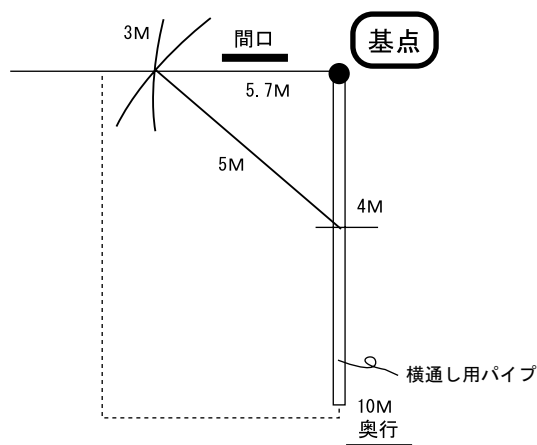
(2) 継いだ横通し用パイプに50cmごとに印を付けてください。

(3) 継ぎ目を抜けない様にしてください。

! 全ての継ぎ目を抜けない様につぶしてください。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事があります。)



4 基点を決め、直角を出します。

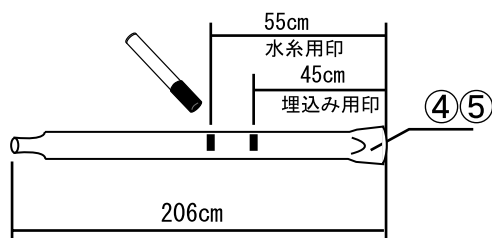


○直角を出す方法

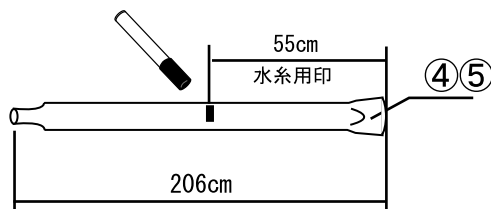
- (1) 基点を決めます。
- (2) 横通し用パイプを1本置きます。
- (3) 基点から4M(横通し用パイプに対して)・3M(間口に対して円をかく様に)印を付けます。
- (4) 横通し用パイプ上の4Mの印から5M(円をかく様に)とり、3Mとの接点をだします。
- (5) 基点と接点に線をひき、基点より5.7Mに印を付けます。

5 脚用パイプに印を付けます。

B ケース ④⑤ 25×206cm 42本



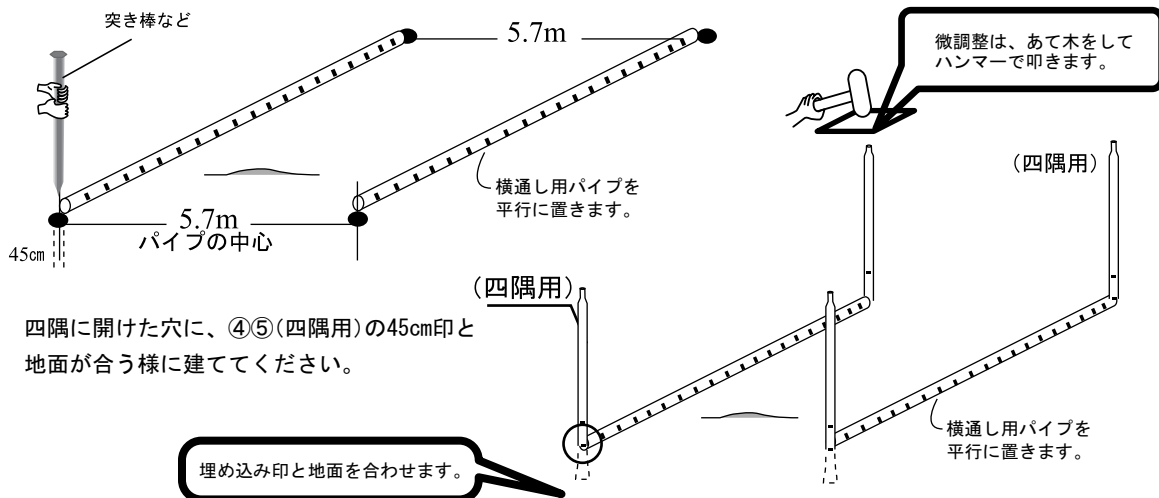
脚用パイプ
4本(四隅用)



脚用パイプ
38本

6 脚用パイプを建てます。

- (1) 継いだ横通し用パイプを5.7m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘ります。

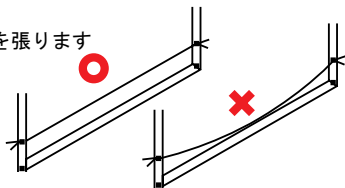


- (2) 四隅に開けた穴に、④⑤(四隅用)の45cm印と地面が合う様に建ててください。

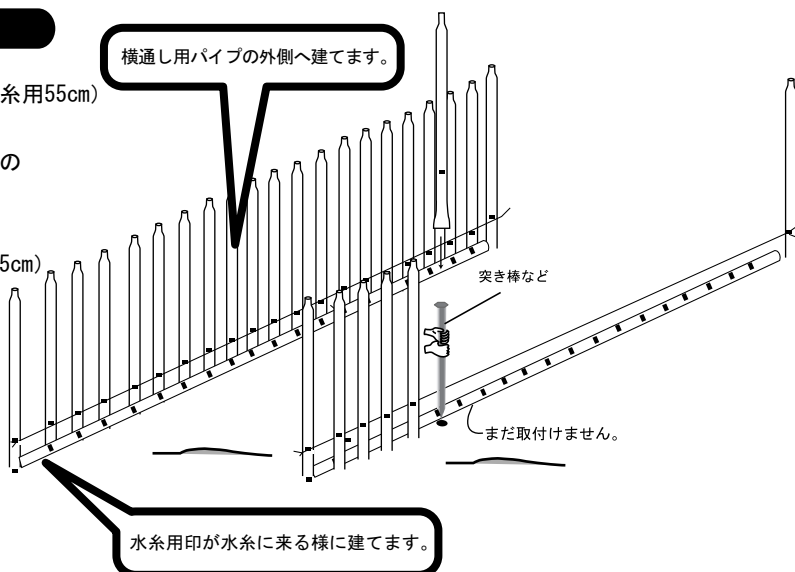
E ケース ⑥2 水系 1 個

- (3) 四隅に建てた脚用パイプに付けた印(水系用55cm)に、⑥2を結び付け、張ります。
 (4) 横通し用パイプに付けた印(50cm間隔)の位置に約45cm穴を掘ります。
 (5) 残りの脚用パイプを建てます。
 張った水系と、脚用パイプの水系用印(55cm)が、合うように建てます。

水系を張ります



横通し用パイプの外側へ建てます。



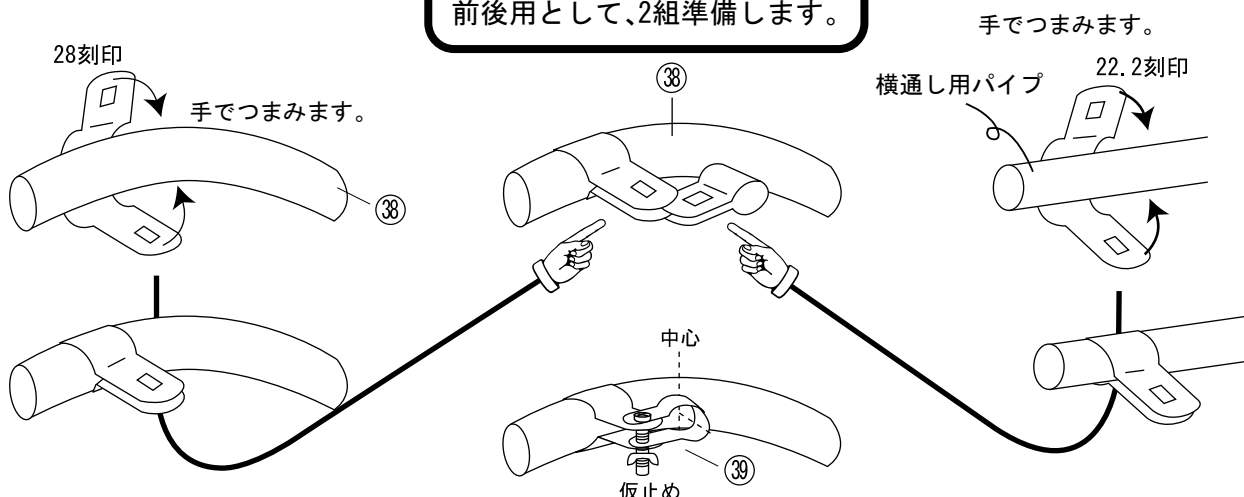
7 外ジョイントに部品を取り付けます。

G ケース ③⑧ 外ジョイント 2本

G ケース ③⑨ Wユニバーサルジョイント 2組

- (1) ③⑨ の部品を一旦バラして、③⑧に28(刻印)・横通し用パイプに22.2(刻印)を、それぞれ合わせて形を作ってください。
- (2) 形を作った ③⑨を③⑧で組み合わせてください。

前後用として、2組準備します。



8 アーチ用パイプを脚用パイプに差し込み、組みます。

A 梱包 ①② 25×310cm 42本

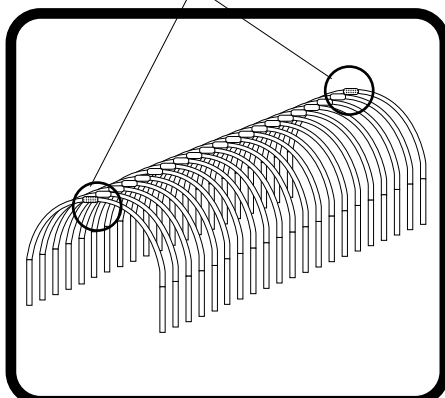
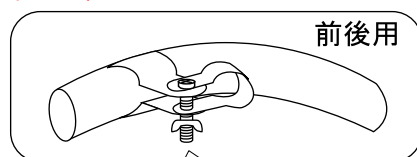
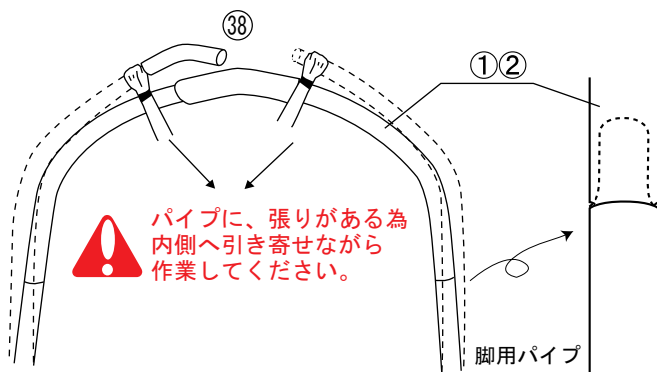
G ケース ③⑧ 外ジョイント 19本

- (1) ①②を下図のように脚用パイプに差し込んでください。
- (2) ③⑧を①②に差し込み、継ぎます。7で作った2組は、最前と最後に使用してください。



上から押さえ込む様になると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないでください。

しっかり奥まで差し込みます。

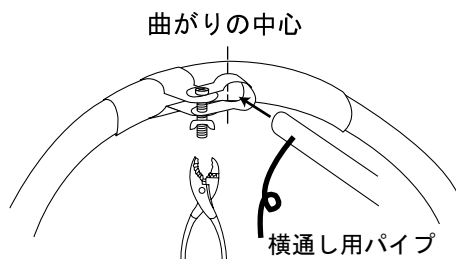
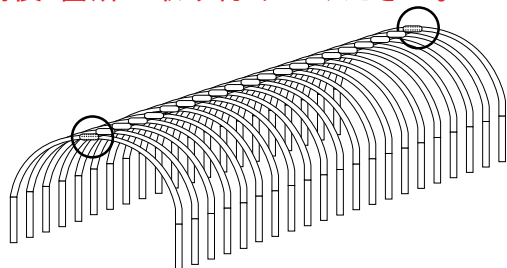


ここまでの完成図

9 横通し用パイプを本体内側に取り付けます。

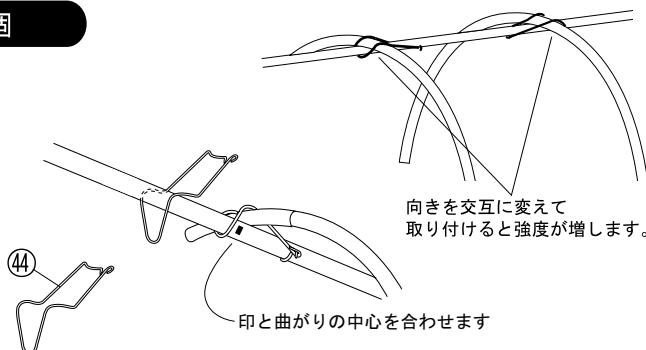
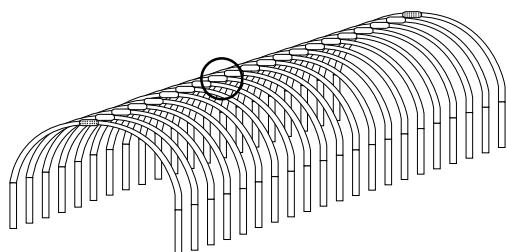
(1) 図の順番に横通し用パイプを取り付けてください。

前後2箇所に取り付けてください。



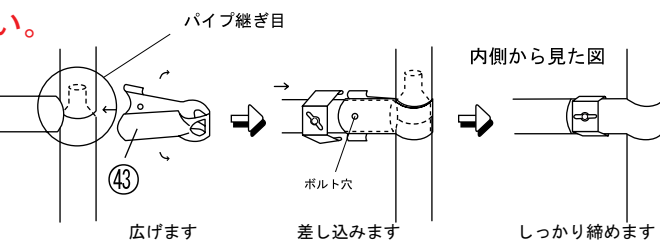
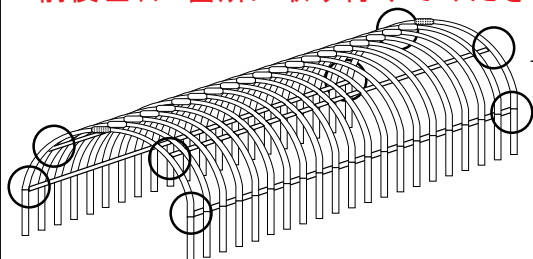
Gケース ④④ フックバンド 19個

天井19箇所にに取り付けてください。



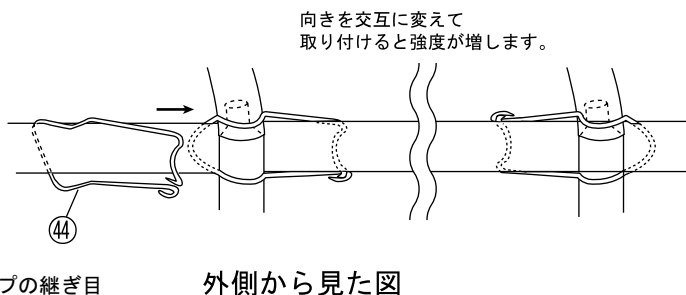
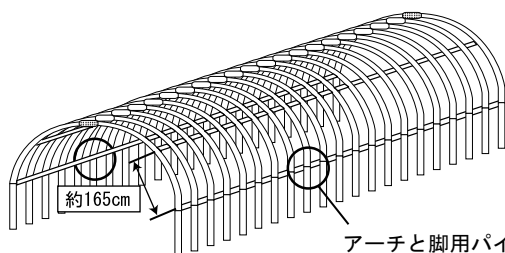
Gケース ④③ Tバンド 8組

前後左右8箇所にに取り付けてください。



Gケース ④④ フックバンド 76個

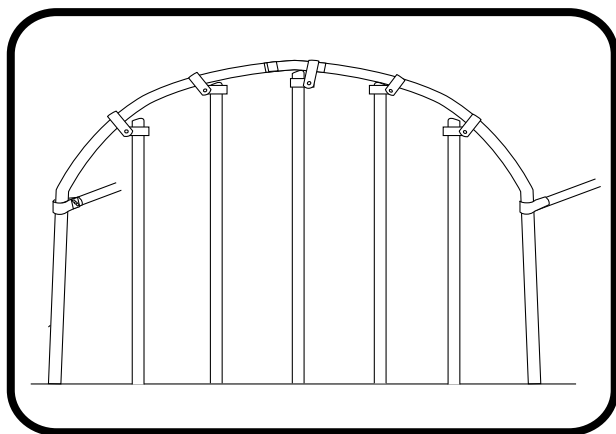
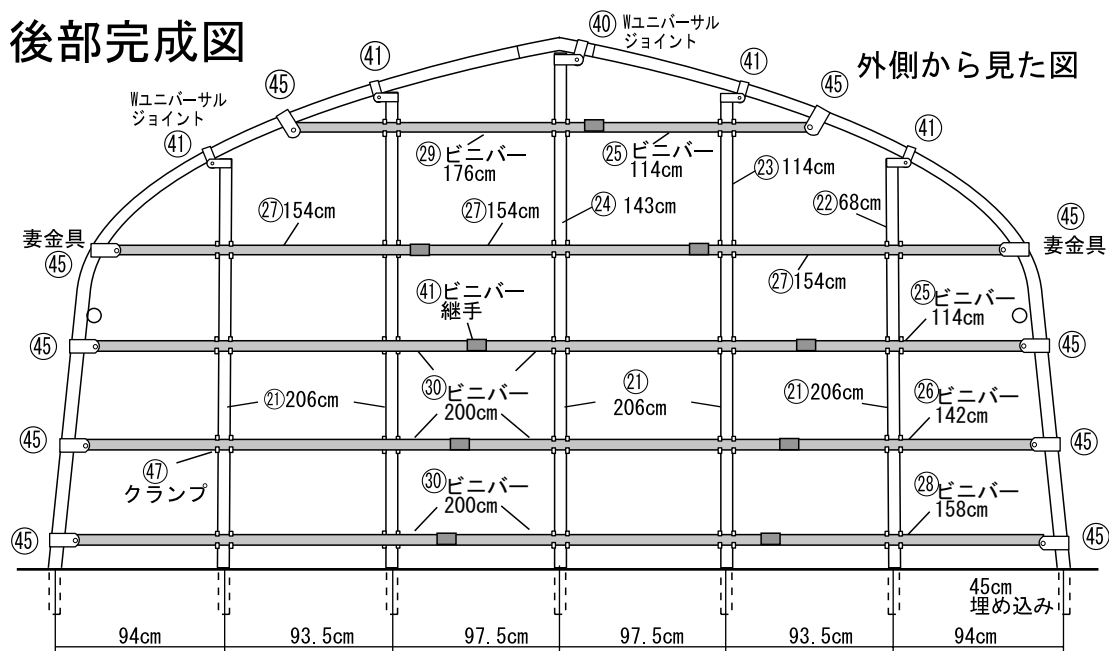
左右76箇所にに取り付けてください。



本体骨組完成

10 後部用パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

後部完成図



Ｅケース ②① 25×206cm 5本

Ｅケース ②② 25×68cm 2本

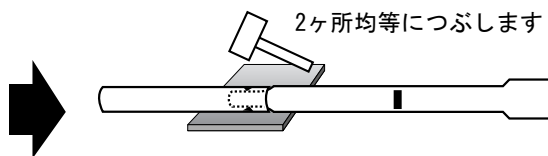
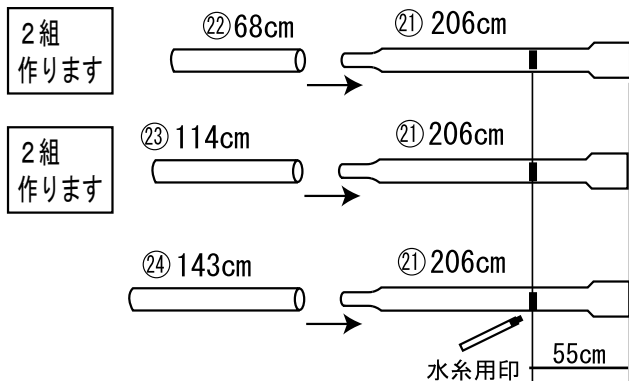
Ｅケース ②③ 25×114cm 2本

Ｅケース ②④ 25×143cm 1本

Ｇケース ④① ユニバーサルジョイント28×25 1組

Ｇケース ④② ユニバーサルジョイント25×25 4組

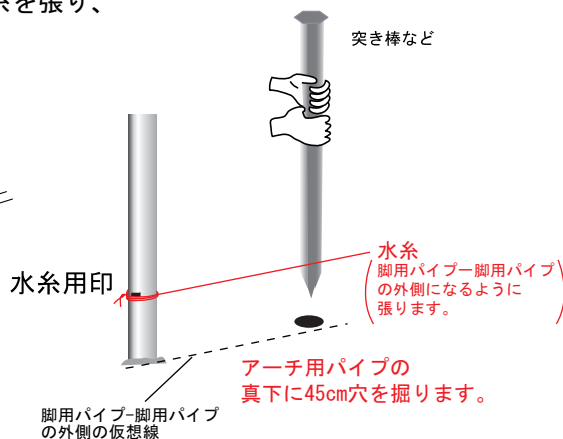
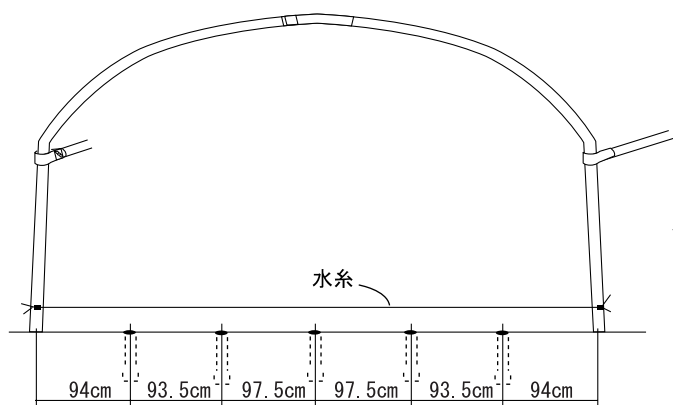
(1) 後棲用パイプを建てます。
下図のようにパイプを継いでください。



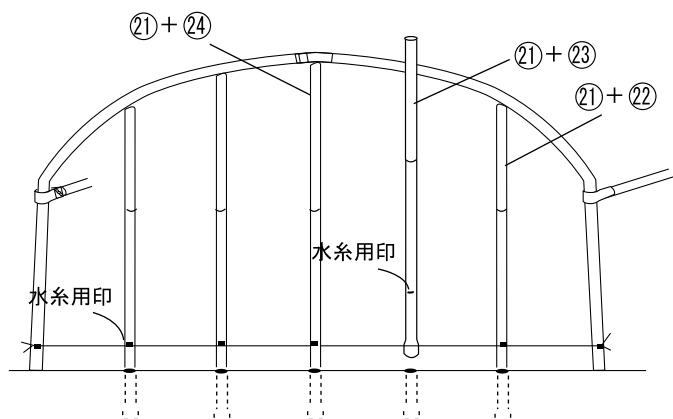
※継ぎ目をしっかり差し込み、ハンマーのカドで中心を抜けない程度につぶします。その時、下に固いものを敷いてください。

11 後部用パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

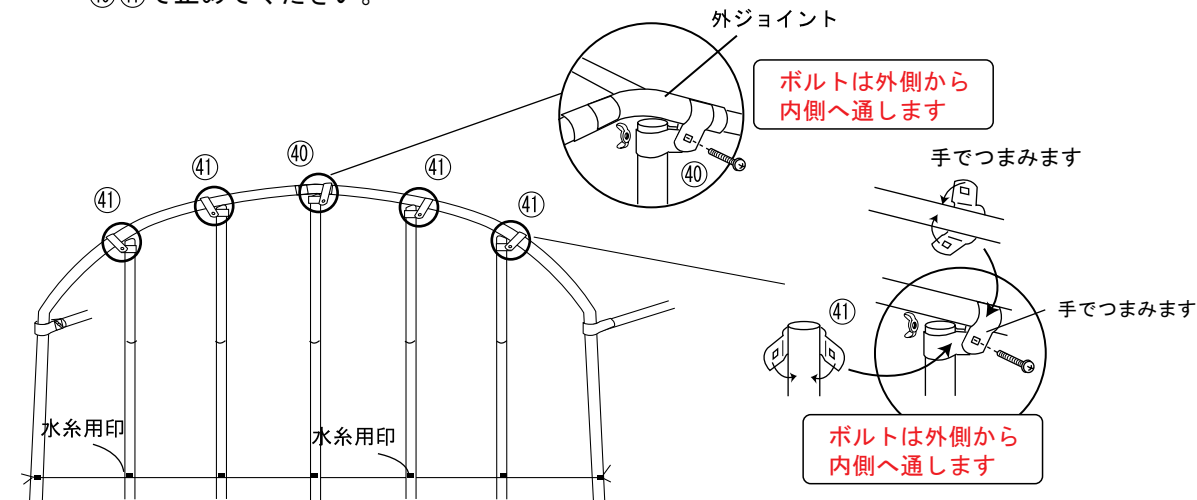
- (2) 下図のように間口両端脚用パイプの水糸用印に水糸を張り、
下図間隔で約45cm穴を掘ります。



- (3) 組んだパイプの水糸用印と水糸が合う様に建ててください。



- (4) 下図のように、パイプの先端部とアーチ用パイプの接点を
④①④①で止めてください。



12 後部用パイプ組み立て(ビニバー取り付け)

Eケース ②⑤ ビニバー 114cm 2本

Eケース ②⑥ ビニバー 142cm 1本

Eケース ②⑦ ビニバー 154cm 3本

Eケース ②⑧ ビニバー 158cm 1本

Eケース ②⑨ ビニバー 176cm 1本

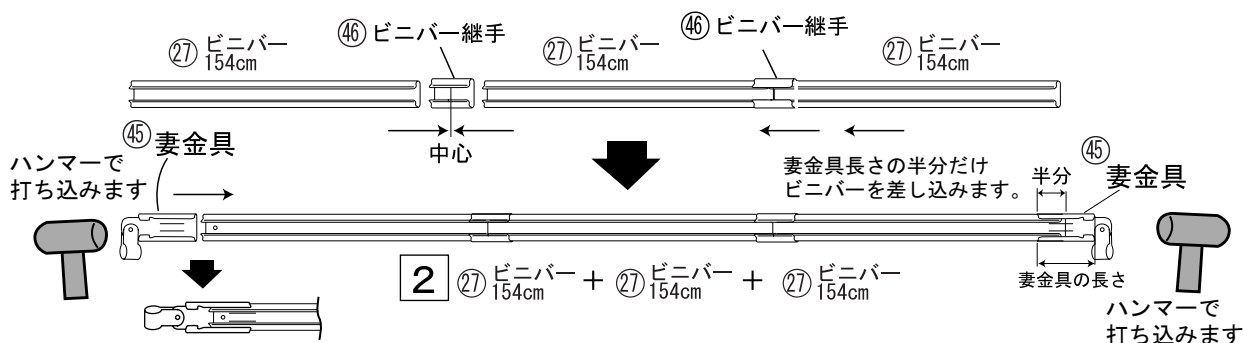
Eケース ③⑩ ビニバー 200cm 6本

Gケース ④⑤ 妻金具 10個

Gケース ④⑥ ビニバー継手 9個

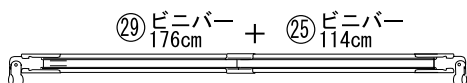
Gケース ④⑦ クランプ 23個

(5) 下図のようにビニバーを組み立てます。(下は ② の例です。)



同様に

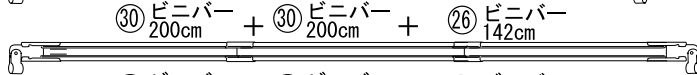
①



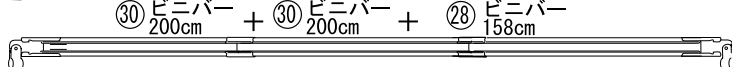
③



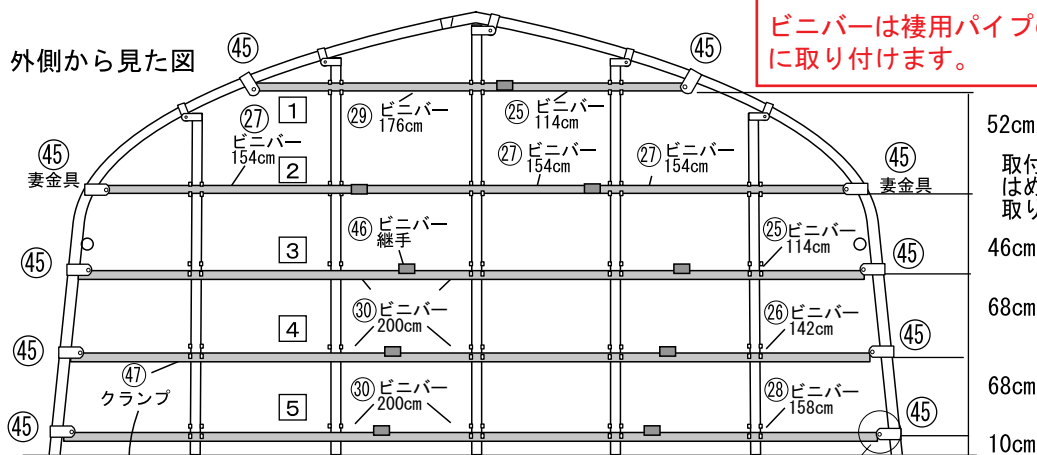
④



⑤

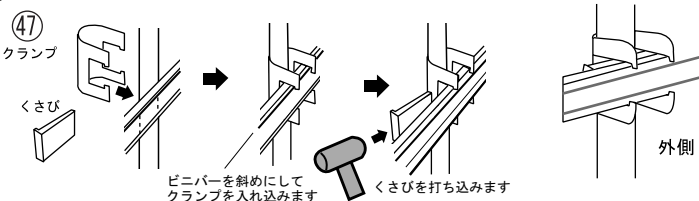


外側から見た図

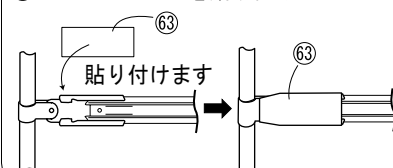


ビニバーは棲用パイプの外側に
に取り付けます。

ビニバーと後棲用パイプが交差するところの取り付け手順



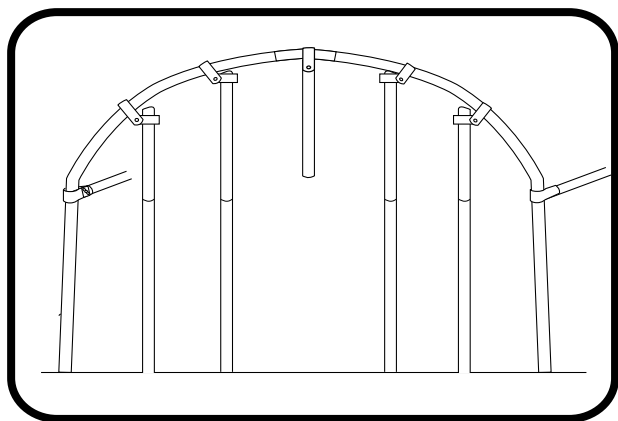
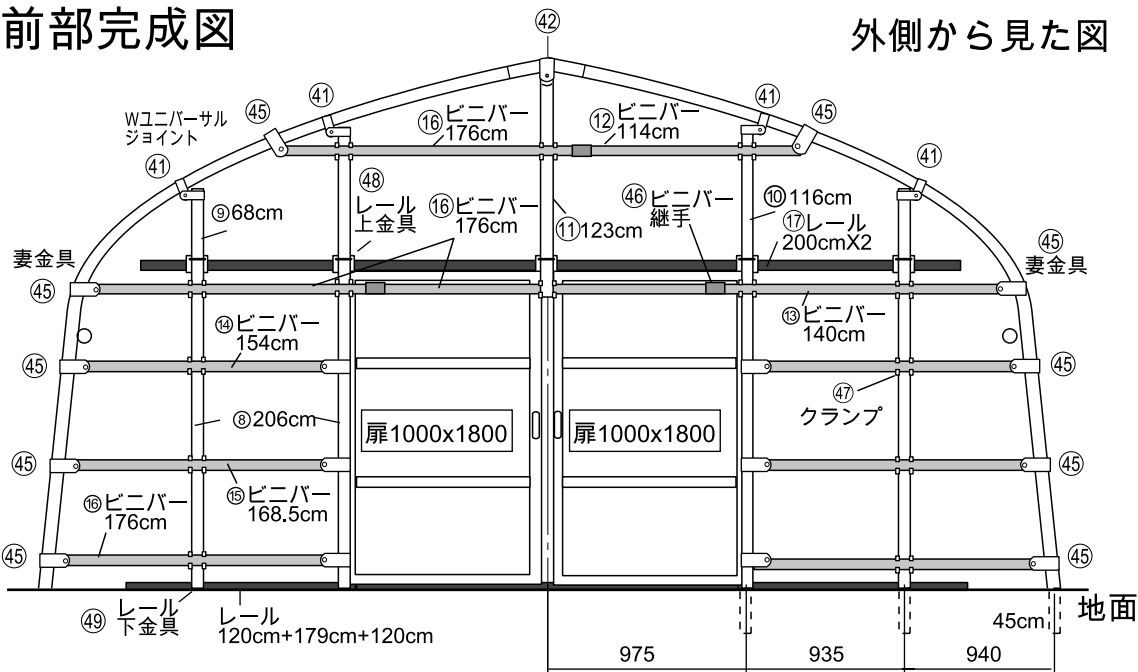
⑥③ スポンジテープを貼り付けてください



13

前部完成図

外側から見た図



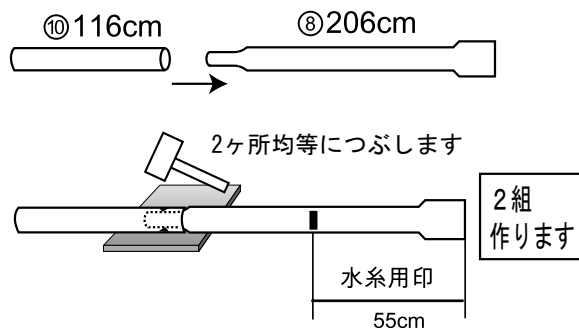
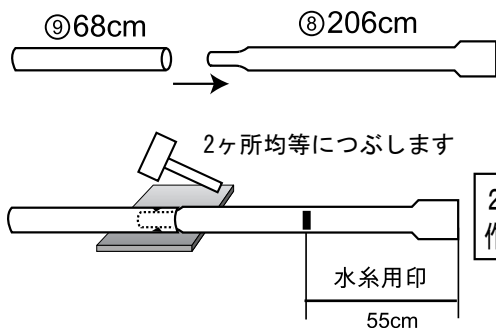
D ケース ⑧ 25×206cm 4本

Dケース ⑨ 25×68cm 2本

D ケース ⑩ 25×116cm 2本

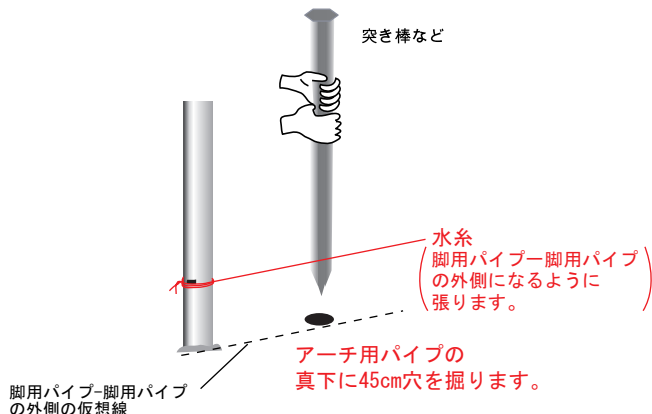
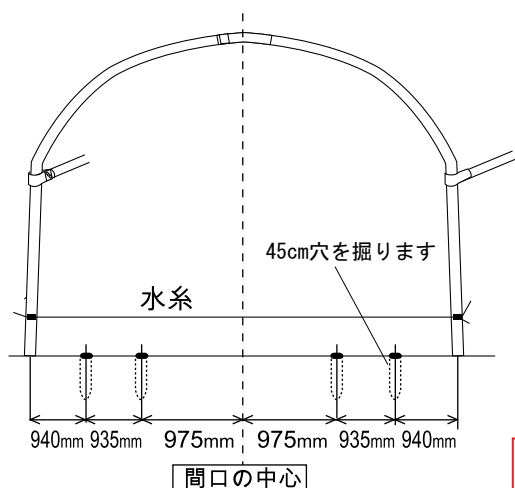
(1) 下図のようにパイプを継いでください。

※継ぎ目をしっかり差し込み、ハンマーのカドで中心を抜けない程度につぶします。
その時、下に固いものを敷いてください。



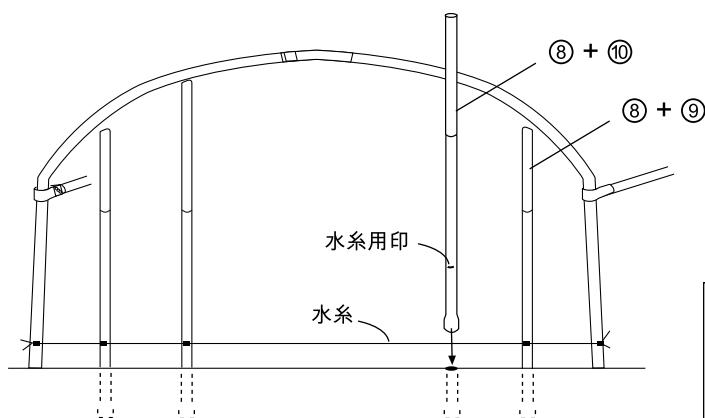
14 前部用パイプ組み立て(出入り口) つづき

- (2) 間口両端脚用パイプの水系用印に水系を張り、間口の中心から975mmの位置に約45cm穴を掘り、下図の寸法で穴を掘ります。



正確に作業を行ってください。後にレールを取り付けられなくなったり、扉と⑥、⑦の隙間があいたりします。

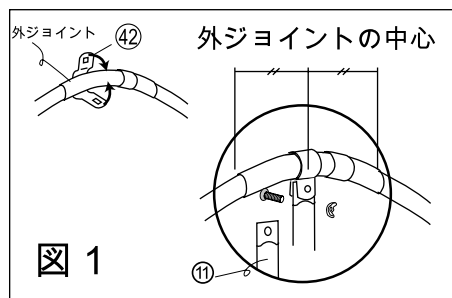
- (3) 組んだパイプの水系用印と水系が合う様に建ててください。



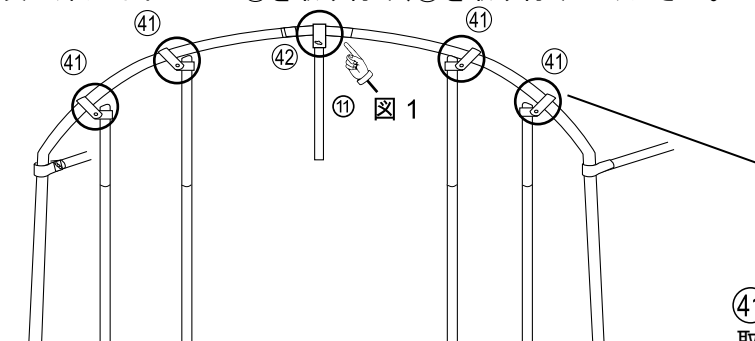
G ケース ④② ユニバーサルジョイント 28 1個

G ケース ④① Wユニバーサルジョイント 25×25 4組

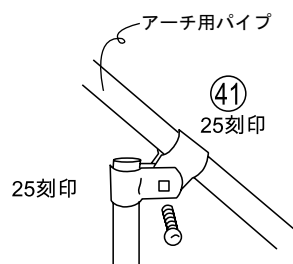
D ケース ①① 25×123cm 1本



- (4) ⑨⑩の先端部とアーチ用パイプの接点を④①で止めてください。次に外ジョイントに④②を取り付け、①①を取り付けてください。



(図 1)



④①の部品は、今までの要領で取り付けてください。

15 前部に下レールを取り付けます。

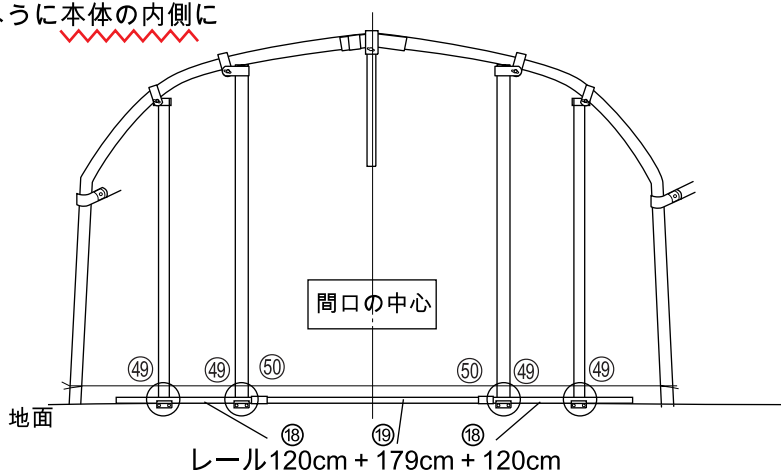
Dケース ⑮ レール 120cm 2本

Gケース ④⑨ レール下金具 4個

Dケース ⑮ レール 179cm 1本

Gケース ⑤⑩ レール継手 2個

レール⑮⑯を図のように本体の内側に
取り付けます。



- (1) レール下金具④⑨を図1のように取り付けます。
このとき、レールが入る程度の仮締めとします。
- (2) 図2のようにレール⑮120cmを取り付けた
2つのレール下金具に差し込みます。(2箇所)
- (3) レール⑮120cmとレール⑯179cmを
レール継手⑤⑩を使って継ぎます。
このときレール⑯179cmの中心が間口の
中心にくるようにします。
- (4) 水系とレールの水平を確認し、仮締めした
ナットをしっかり締めます。

図1

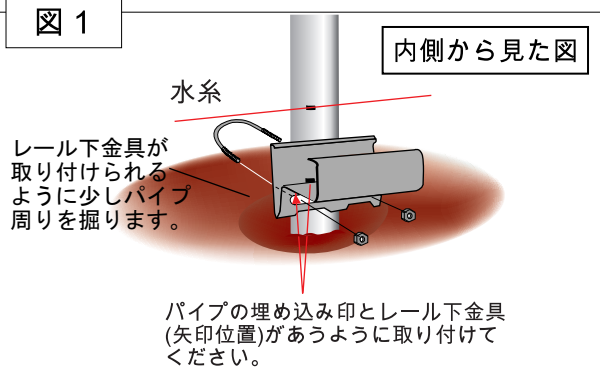
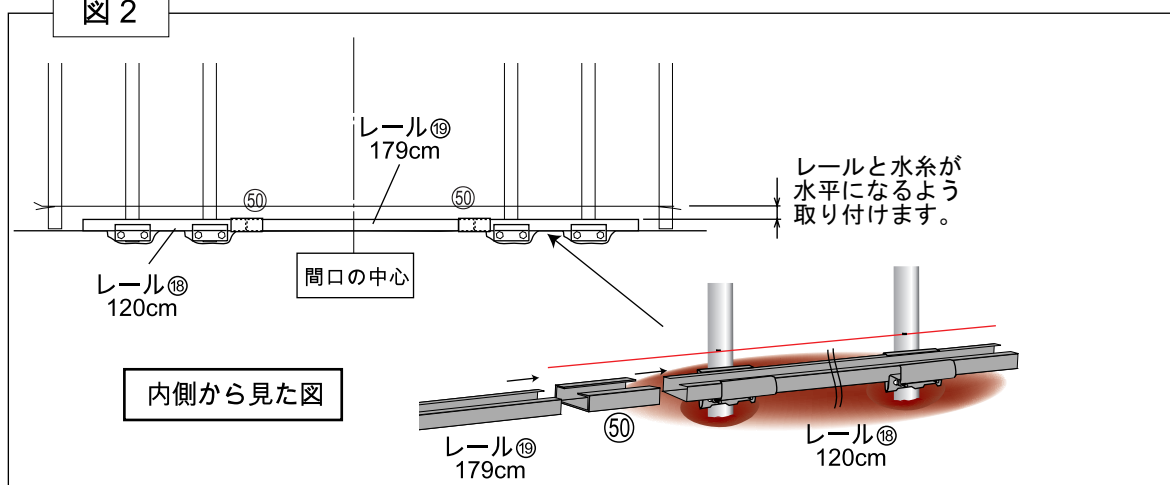


図2

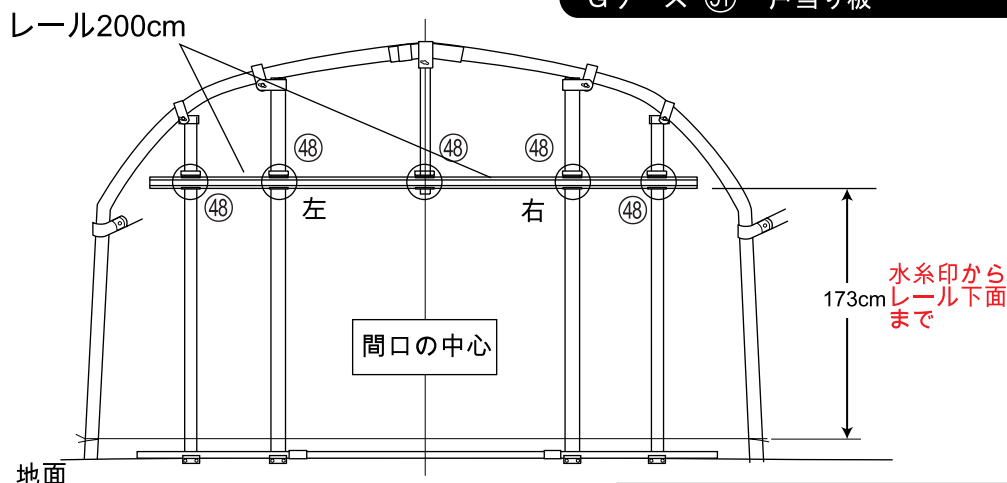


16 上レールを取り付けます。

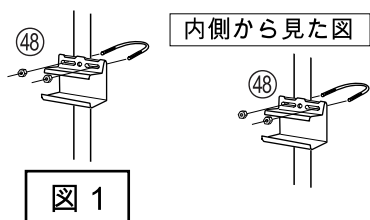
D ケース ①⑦ レール 200cm 2本

G ケース ④⑧ レール上金具 5組

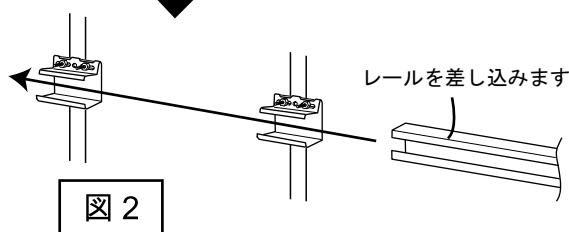
G ケース ⑤① 戸当り板 1個



前部を内側から見た図



内側から見た図

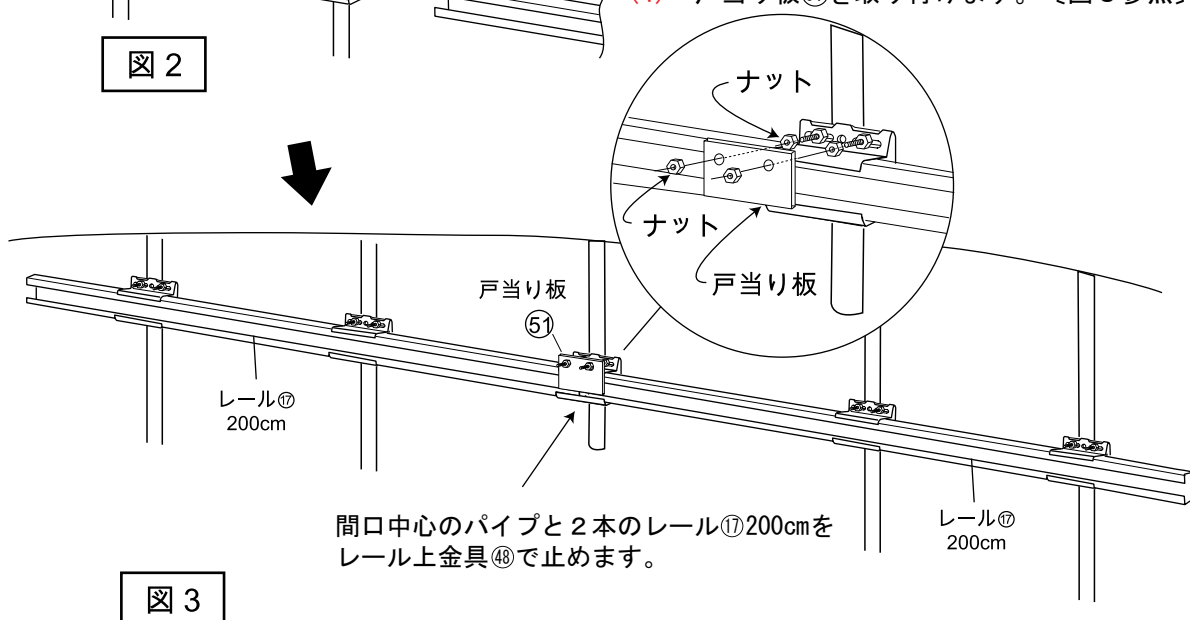


(1) 上図の高さでレール上金具④⑧を取り付けます。(4箇所)※ボルトは軽く締めておきます。

(2) レール ①⑦ 200cmを差し込みます。(左右2箇所)〔図2参照〕

(3) 間口中心のパイプと2本のレール200cmをレール上金具④⑧で止めます。〔図3参照〕
※下レールと水平になるようにレールを取り付け、ナットをしっかりと締めます。

(4) 戸当り板⑤①を取り付けます。〔図3参照〕



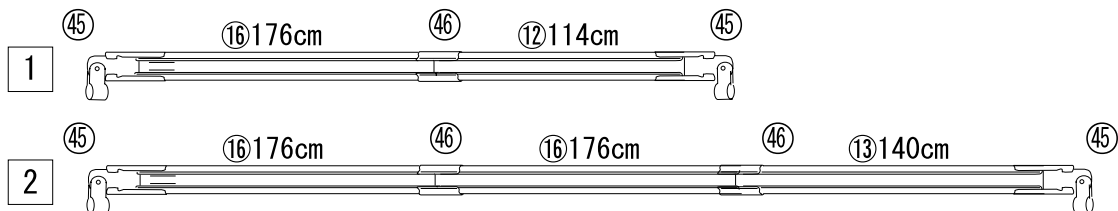
間口中心のパイプと2本のレール①⑦200cmをレール上金具④⑧で止めます。

図3

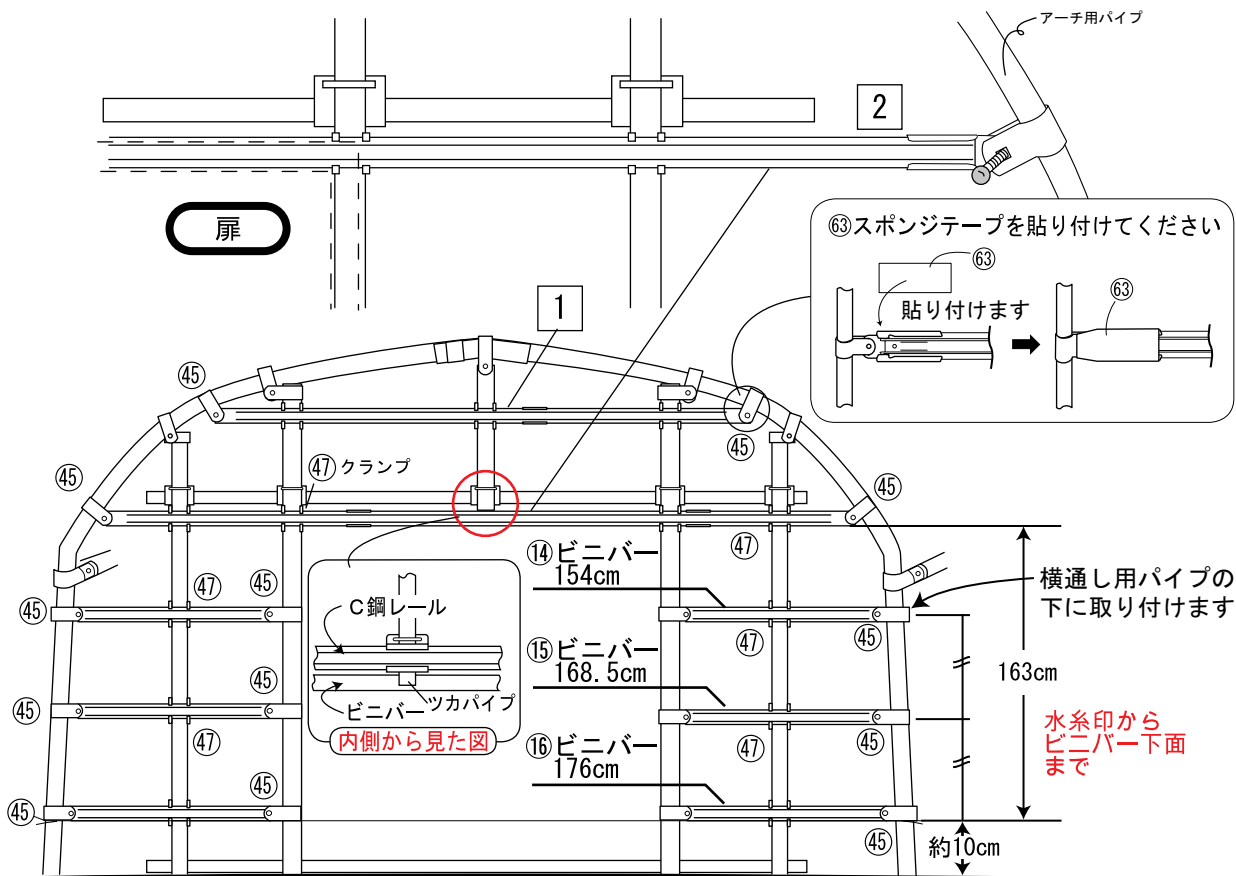
⑰ ビニバーを取り付けます。

D ケース	①⑥	ビニバー	176cm	5本
G ケース	④⑤	妻金具		16個
G ケース	④⑥	ビニバー継手		3個
G ケース	④⑦	クランプ		14個

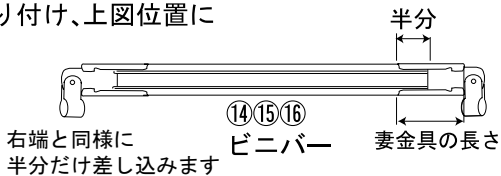
- (1) 今までの要領で下図のようにビニバーを組み立てます。



- (2) 組み立てたビニバーを扉の上用パイプ部が隠れる程度に取り付けて、ビニバーの両端とアーチ用パイプとの接点を止めます。



- (3) ⑭⑮⑯ビニバーに妻金具を取り付け、上図位置に取り付けてください。



- (4) ④7 クランプを今までの要領で取り付けてください。

妻金具長さの半分だけ
ビニバーを差し込みます。

18 扉を組み立てます。

E ケース ③② 19×100cm 8本

E ケース ③③ 19×180cm 2本

E ケース ③④ 19×180cm 2本

E ケース ③① ロングパッカー 8本

G ケース ⑤⑨ 取手 2個

G ケース ⑤⑦ ボルト・ナット 各16個

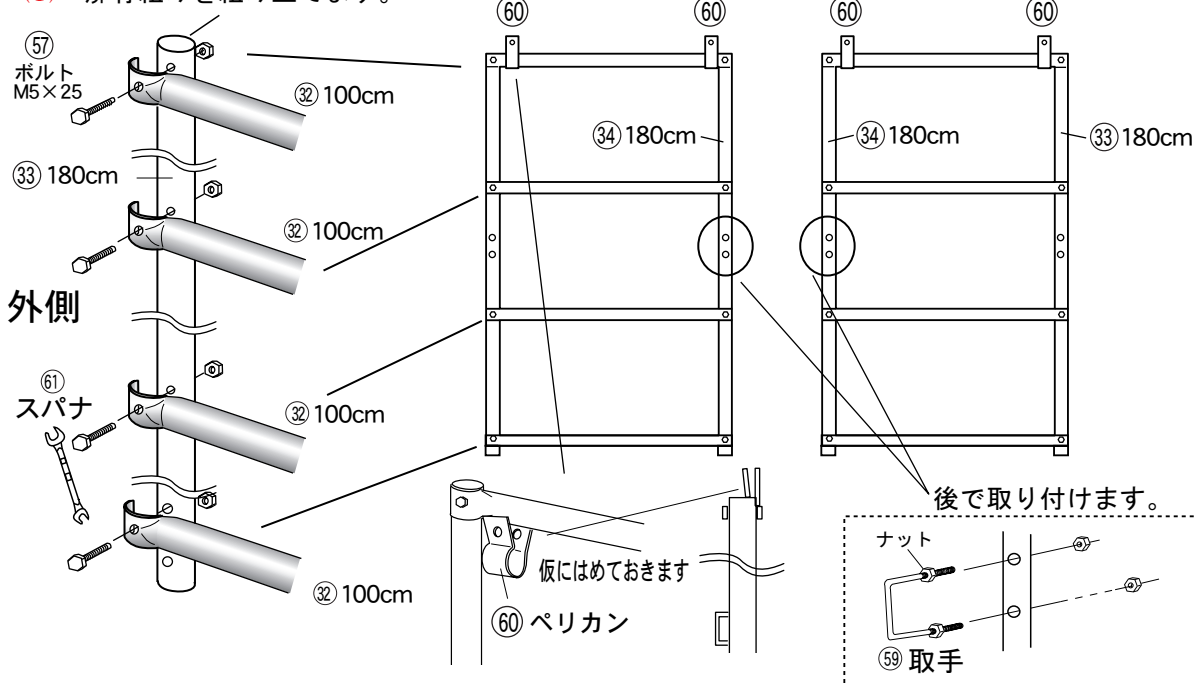
G ケース ⑥① ペリカン 4 個

G ケース ⑥① スパナ

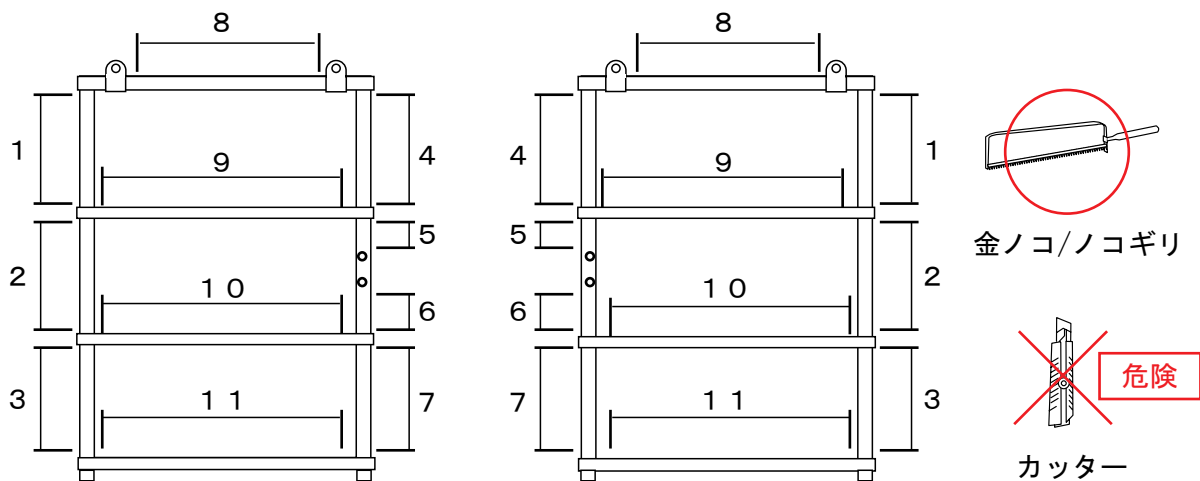
F ケース ③⑦ 扉ビニール

(外側から見た図)

(1) 扉骨組みを組み立てます。

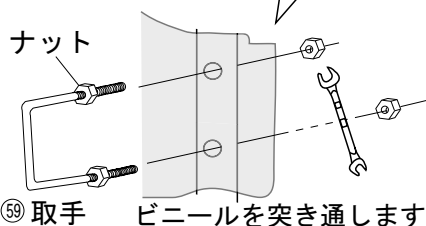
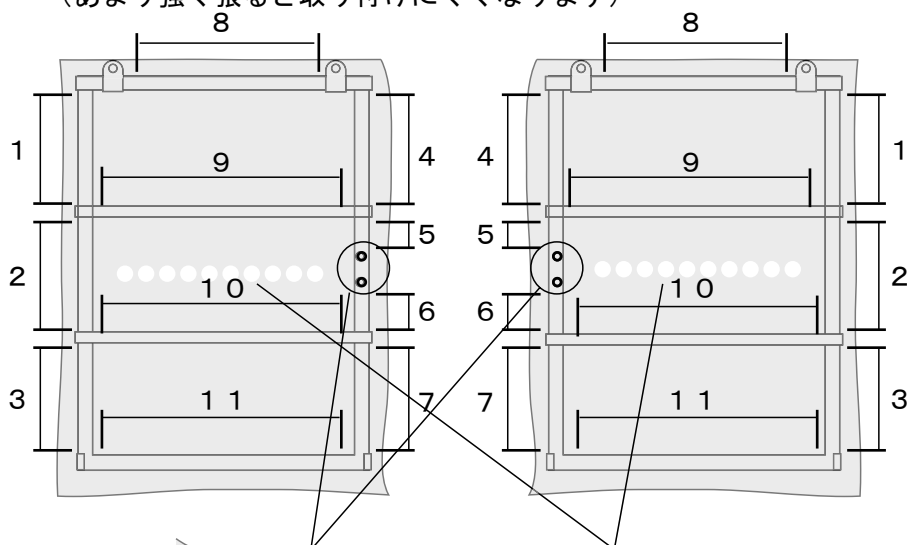


(2) ロングパッカーを下図各 1～11 の寸法で 2 本ずつ、金ノコ/ノコギリでそれぞれ切ります。



19 扉を組み立てます。(つづき)

- (3) ピーンと張りながらロングパッカー-③①を各数字の順番で取り付けます。
(あまり強く張ると取り付けにくくなります)



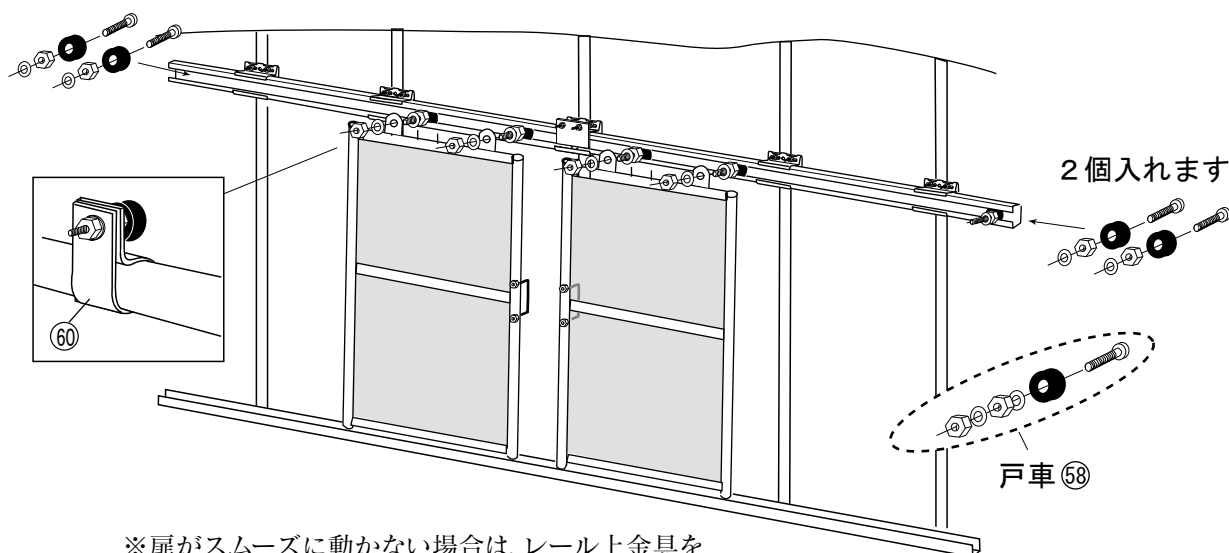
文字が正しく読める方が表です。
(外側から字が正しく読める方)

- パッカーは風などによりはずれない様に
きつくなっています
- ビニールの場合取り付け取り外しを何回
もされると破れますので注意してください。

20 扉をレールに取り付けます。

Gケース ⑤⑧ 戸車

2個入れます



※扉がスムーズに動かない場合は、レール上金具を
調節してください。

21 側ビニールを張ります。

F ケース

③⑥

側ビニール

G ケース

⑤③

パッカー22用

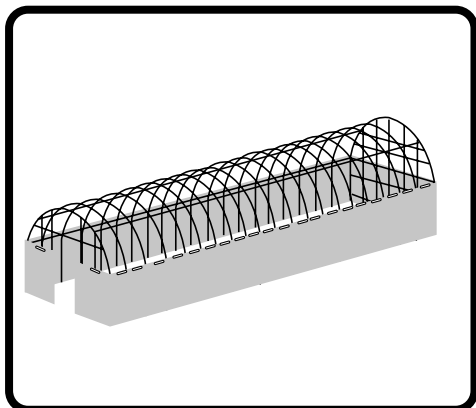
40本

G ケース

⑤②

パッカー25用

8本



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかないように注意してください。

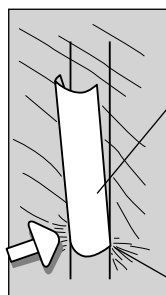


ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にしてください。



⑤②⑤③は1回で取り付ける様に止めてください。
(何回もやり直すとビニールが破れます。)

完成予定図

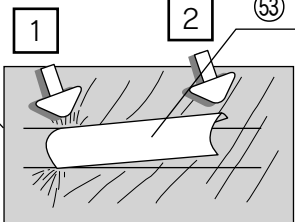
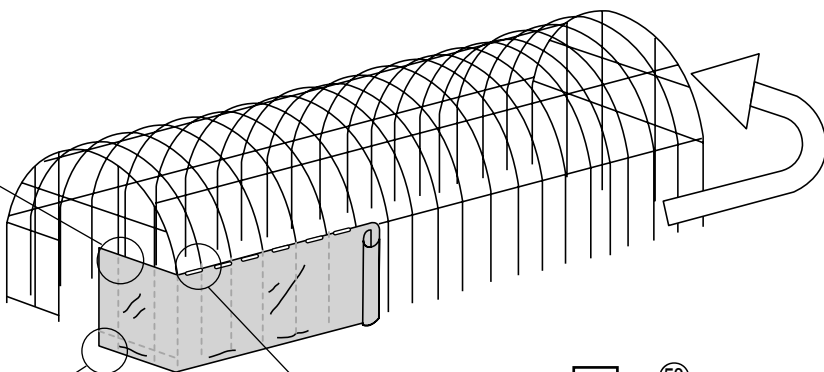


⑤②

(片側4箇所)

前は全てをはめずに、
片方だけ差し込み、
仮止めにします。

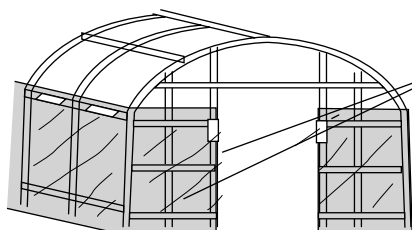
ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの間の
横通し用パイプにパッカーで取り付けます。



横通し用パイプに、斜めに差し込みます

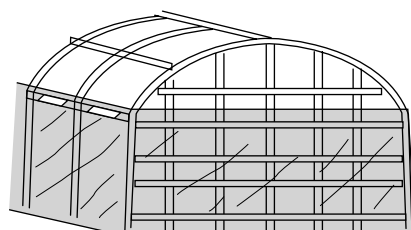
30cm位
出します。

20cm位垂らします。



前 (仮止め)

約15cm残り
切り取ります



後

22 天ビニールを被せます。

D ケース

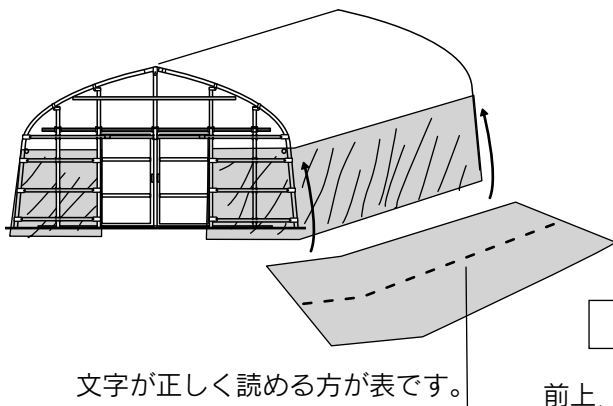
②0

スプリング

E ケース

③5

天ビニール



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意してください。



ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にしてください。



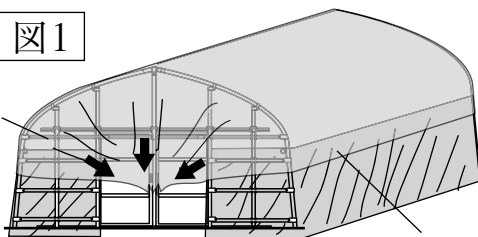
風の強いときは、思わぬ力で引っばられますので作業しないでください。

文字を中心に持ってきます。

後

図1

前上

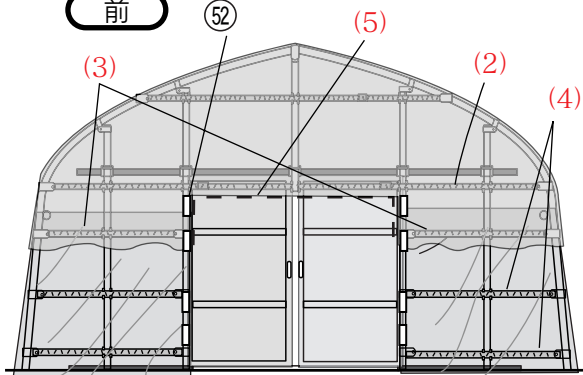


前後からビニールがピンと張るように引っ張りながら中心よせて前上のビニバーをスプリングで止めます。

この重なり部分を左右同じにします。

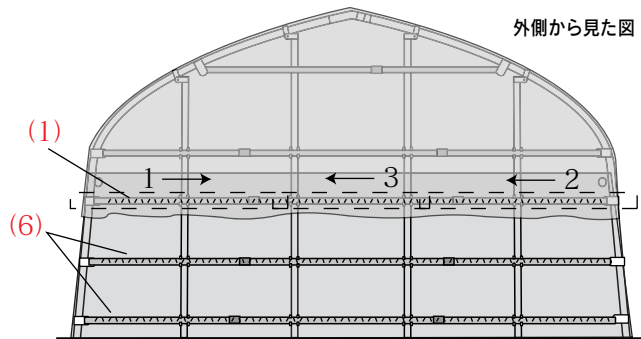
前

パッカー
25用
⑤2



後

外側から見た図



- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後の点線部分を天ビニールと側ビニールを一緒に②0でとめてください。
※3本使いますが、両サイドを先に止め真中は3山くらい重なるように止めてカットしてください。

- (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、同様に、前上を止めてください。[(図1)と上図]

- (3) 前の方の扉横上のビニバーに、天、側ビニールをスプリングで止めてください。

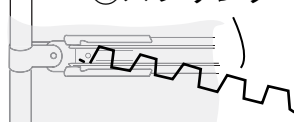
- (4) その他の扉横ビニバーをスプリングで側ビニールを止めてください。

- (5) 前の扉部は、15cm 位残して切り取りパッカーでとめてください。

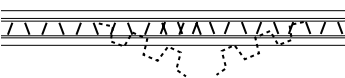
※前後の天ビニール下端部は、特にそのままだでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等に注意してください。

- (6) 後の残り部分のビニバーをスプリングで側ビニールをとめてください。

②0スプリング

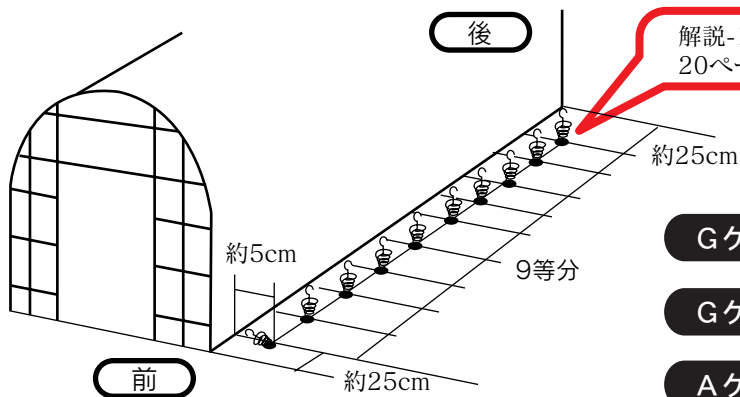
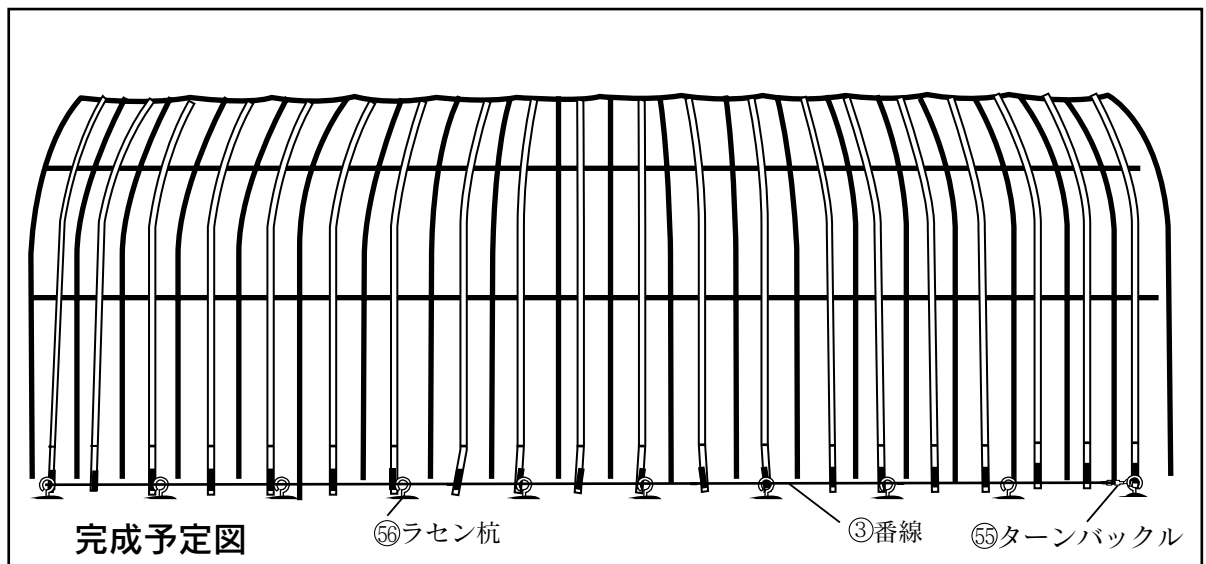


スプリングを斜めにしてビニバーにはめこんでいきます。



スプリングが交わるころは重ねて止めます

23 ラセン杭をねじ込みます。



G ケース	⑤⑥	ラセン杭	20本
G ケース	⑤⑤	ターンバックル	2 個
A ケース	③	番線	

先ず片方の説明をしますので (1) ~ (6) まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業してください。

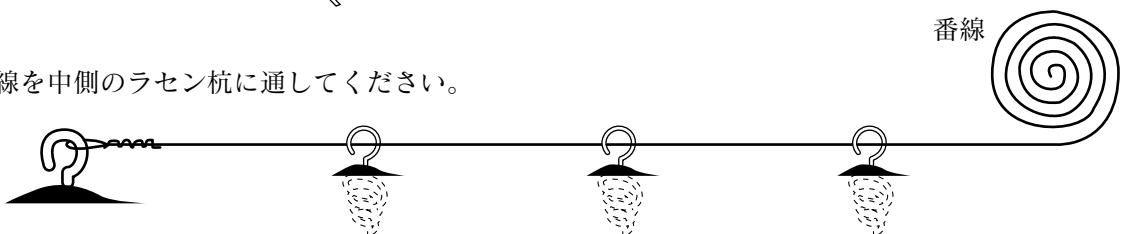
- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んでください。(解説 - 1 20 ページ)
- (2) 端のラセン杭に、③番線を引っかけてしっかり止めてください。



折り返し等を長めに取ると、もう片方の長さが足りなくなりますので注意してください。

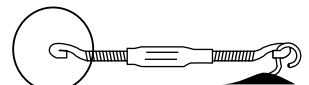
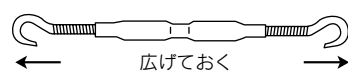


- (3) 番線を中側のラセン杭に通してください。



(4) ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけてください。

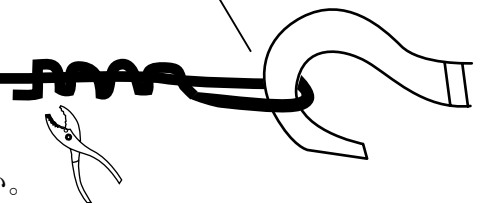
取り付ける際に、最大に近い所まで広げてください。



(5) ターンバックルに③番線を引っかけてしっかり止めてください。



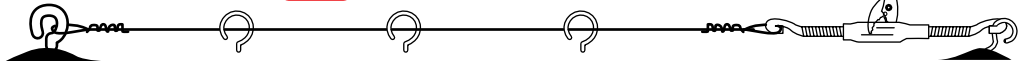
番線をピンと張って止めます。



(6) 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めてください。

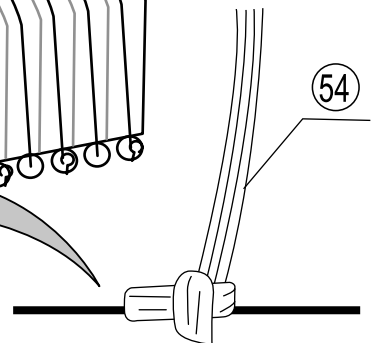
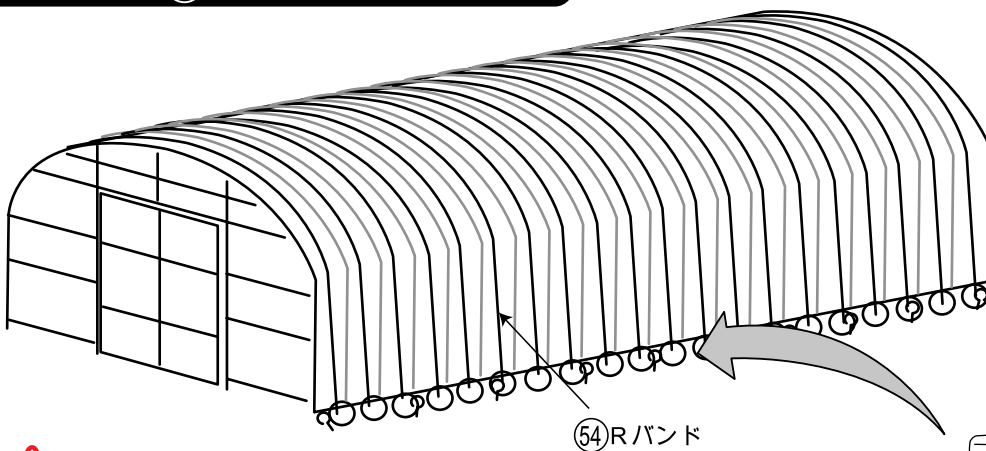


番線がピンと張る位に。



24 ビニールを押えます。

Gケース ⑤4 Rバンド



各パイプの間にバンドを張ります。

※ バンドは定期的に締め直してください。 ※反対側も同様に結んでください。 カラー番線に直接結びます。

■商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読みください。

■規格等が分かるように、全ての用紙を保管してください。

●ビニールについて

- ビニールを燃やすと、有毒なガスが発生しますので絶対に燃やさないでください。
- 側ビニールを巻上げたままにしておくと、下ろす際にくっついて破れる事がありますので注意してください。
- 替ビニールの販売もしています。

●パイプについて

- パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等から錆びが発生します（設置条件で年数は変わります）ので、そのまま使用されると接触したビニールが破れますので、錆び付いたパイプ（部品含みます）は、交換してください。

●バンドについて

- 長年ご利用されていると老朽等により劣化します（設置条件で年数は変わります）。そのまま使用されると接触したビニールが破れますので、劣化したバンドは交換してください。

解説- 1

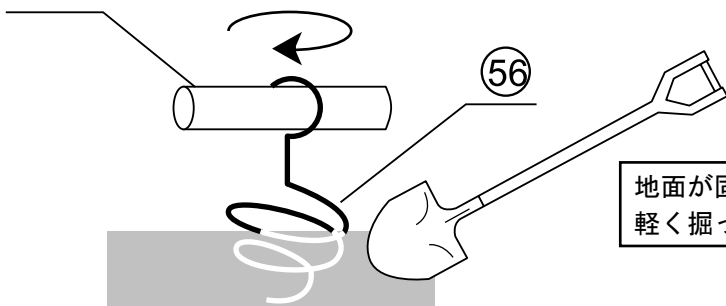
Gケース

⑤⑥ ラセン杭

20本

ラセン杭に硬い棒を通して、ねじ込みます。

硬い棒など



地面が固いときは、スコップであらかじめ軽く掘ってから、ねじ込みます。



両端の杭は中側へ向かって斜めにねじり込みます

